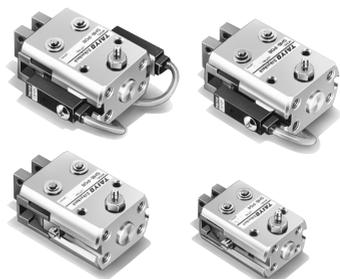


SH3シリーズと比較して、全長が短い
軽量・コンパクトな平行開閉形チャック。

- シルキーチャックの本体上部にも取付用タップを設けていますので、上方からの取付が簡単です。
- 本体の側面の取付タップから、フィンが先端までの寸法はSH3シリーズと同一で互換性があります。
- SH3シリーズと比べて軽量なため、ピックアンドプレース等に最適です。
- フィンガ部の平行作動はピストンの動きをベアリングで支持された独特なアクションレバーで変換。こじれ現象がないため、軽快で応答性に優れています。



本体仕様

種類	標準形・スイッチ付	
	単動形(ノーマルオープン形)	
形式	SHB-P04(-※)	SHB-P08(-※)
開閉ストローク (mm)	4	6
注) 実効把持力 (N)	19.6	30.4
使用流体	清浄空気	
給油	不要(給油でも可)	
使用圧力範囲	0.3~0.5MPa	
耐圧力	0.7MPa	
最高使用頻度	40C.P.M	
使用温度範囲	-10~+60℃(但し、凍結なきこと)	
ねじ公差	JIS 6H	
繰返し精度	±0.05mm(フィンガ先端部における初期値)	
推奨潤滑油	JIS K2213-1種(無添加タービン油 ISO VG32)相当品	
質量	52g	102g

- 注) ●供給圧力0.5MPa時、フィンガ先端での値です。
●実際のチャックによって保持・搬送が可能な質量は実効把持力の10%程度となります。

スイッチ仕様

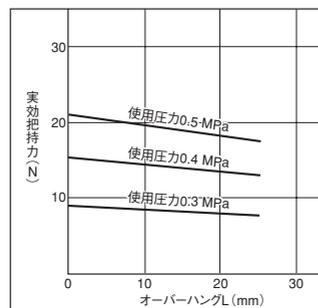
形式	CS101-A(コード付1.5m)
検出方式	高周波発振形
電源電圧	DC12~24V±10%(リップルP-P10%以下)
負荷電圧・電流	DC24V時 100mA以下 [NPNオープンコレクタ出力]
消費電流	DC24V時 15mA以下
内部降下電圧	DC24V時 1V以下
絶縁抵抗	DC500Vメガ時 50MΩ以上(ケース~ケーブル間)
耐電圧	AC1000V 1分間異常なし(ケース~ケーブル間)
耐衝撃	490m/s ² (非繰返し)
耐振動	複振幅1.5mm 10~55Hz 2時間
周囲温度	-10~+60℃(但し、凍結なきこと)
結線方式	0.12mm ² 3芯 外径φ2.9キャブタイヤコード
保護構造	IP67(IEC規格)
表示灯	発光ダイオード(ON時点灯)
電気回路	
適合負荷	小形リレー・プログラマブルコントローラ
質量	23g

- 注) ●スイッチの取扱いについては巻末のスイッチ取扱要領欄を必ずお読みください。

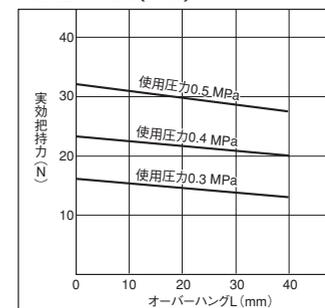


実効把持力

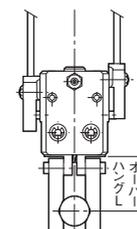
SHB-P04(-※)



SHB-P08(-※)



- 実際のチャッキングによって保持・搬送が可能な質量は実効把持力の10%程度となります。また、ワーク・アタッチメントの材質・形状・ワークの搬送状態によっては、搬送質量がもっと小さくなりますので注意してください。



最大オーバーハング

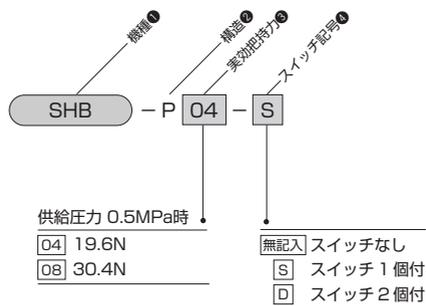
単位: mm

SHB-P04(-※)	25
SHB-P08(-※)	40

オーバーハングは、上表の範囲内で使用してください。アタッチメントが長いと開閉時の衝撃力が大きくなり作動不良やフィンガ部の摩耗、破損の原因となります。

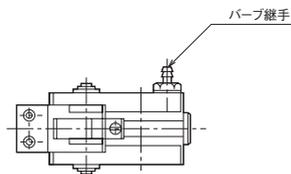
形式記号

●単動形(ノーマルオープン形)



★ 納入形態

1. スイッチ付の場合は、スイッチは本体に組付けずに発送いたします。
2. 本体に、専用バーブ継手を組付けて発送いたします。



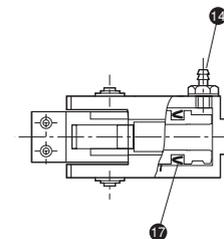
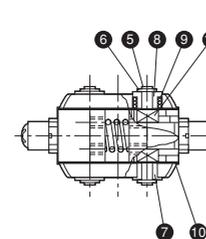
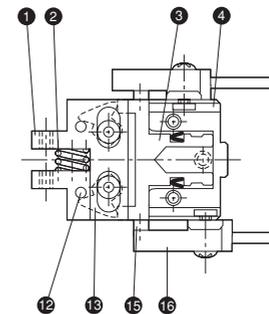
スイッチ単品形式

CS101-A - A

スイッチ形式
(取付ブラケット付属)

PATENTED.

単動形



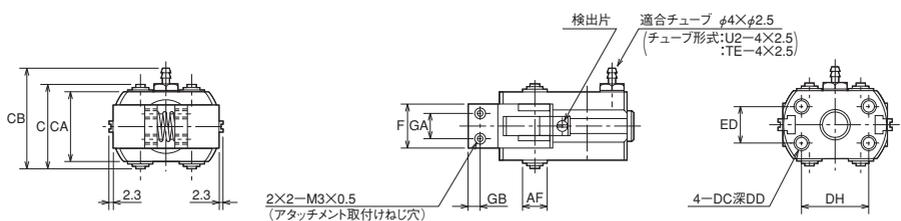
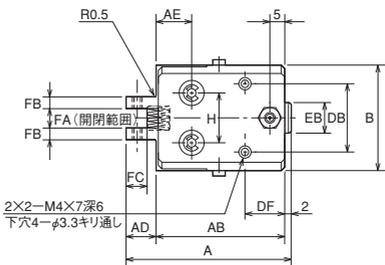
部品表

No.	名 称	材 質	数量
①	フィンガ	炭素鋼	2
②	スプリング	ピアノ線	1
③	ピストンL	アルミニウム合金	1
④	本体	アルミニウム合金	1
⑤	ピン	炭素工具鋼	2
⑥	E形止め輪	ステンレス鋼	4
⑦	スリーブA	炭素鋼	2
⑧	スリーブB	炭素鋼	2
⑨	スプリング	ピアノ線	2

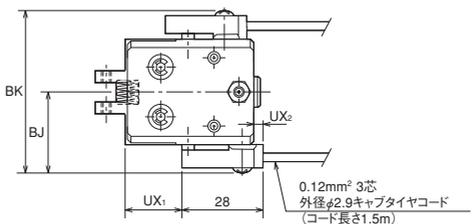
No.	名 称	材 質	数量
⑩	サイドプレート	合成樹脂	2
⑪	ベアリング	ベアリング鋼	4
⑫	ニードル	ベアリング鋼	2
⑬	アクションレバー	炭素鋼	2
⑭	バーブ継手	黄銅(ニッケルめっき付)	1
⑮	検出片	炭素鋼	2
⑯	スイッチAss'y	—	—
⑰	ピストンパッキンL	ニトリルゴム	1

CAD/DATA
CHUCK/TSHB 提供できます。

標準形 SHB-P 実効把持力



スイッチ付 SHB-P 実効把持力 - スイッチ記号



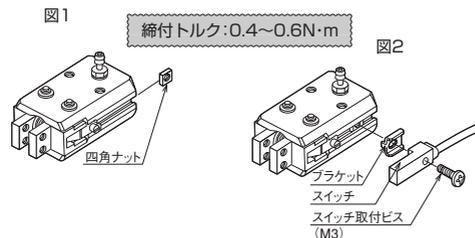
他の寸法につきましては、標準形を参照してください。

寸法表

記号	A	AB	AD	AE	AF	B	BK	BJ	C	CA	CB	DB	DC	DD
形式														
SHB-P04 (-※)	45	36	7	8.5	φ7	27	48	24	21.5	17±0.05	28	18	M4×0.7	6
SHB-P08 (-※)	55	43	10	12	φ8	34	55	27.5	27	22±0.05	33	22	M5×0.8	8

記号	DF	DH	EB	ED	F	FA (開閉範囲)	FB	FC	GA	GB	H	UX ₁	UX ₂
形式													
SHB-P04 (-※)	10	15	φ8g7	10	11	0~4	4	3.5	6	2.5	11.2	6~14	-2~6
SHB-P08 (-※)	13	22	φ10g7	12	14	0~6	5	7	8	4	16.2	11~20	-4~5

スイッチの取付方法



注) 呼び番号2番の十字ねじ回しを使用してください。

- 1) シルキーチャック本体側面の溝(T形スロット)にスイッチに付属しています四角ナットを入れます。(図1)
- 2) スイッチ本体にブラケットを重ね、スイッチ取付ビスを通します。その際、ブラケットの向きは穴からの寸法が長い方をコード側に向けます。(図2)
- 3) スイッチ本体に通したスイッチ取付ビスが、シルキーチャック本体の四角ナットに入る様にスイッチを重ね、スイッチ取付ビスで取付けてください。調整する際は、スイッチが前後に軽く動くまでゆるめてください。
- 4) スイッチ取付ビスは、適正な縮付トルクで締付けてください。縮付トルクが適正でない場合、スイッチの位置ズレやスイッチ本体の破損を招く場合があります。

スイッチの検出例/調整方法

検出例	フィンガの開端時検出	フィンガの中間位置検出	フィンガの開端時検出
検出位置			
スイッチ出力	フィンガが開端にある時、出力します。	フィンガがワーク寸法の位置まで来た時、出力します。	フィンガが開端にある時、出力します。
スイッチ調整手順	 1. スイッチをボディ後部側から矢印の方向へ移動し、表示灯が点灯する位置で、スイッチを固定します。	 1. シルキーチャックに空気を供給し、フィンガを開端もしくはワークを把握した状態にします。 2. スイッチをフィンガ側から矢印の方向へ移動し、表示灯が点灯する位置で、スイッチを固定します。	

- 注) ●ストロークの途中でフィンガの位置を検出する場合、フィンガがスイッチONの設定位置を越えても、スイッチのONの状態が続きます。
●SHBシリーズを内径チャッキングに使用しますと、ワークがセンタリングしません。
●スイッチは、フィンガがスイッチの設定位置まで移動した事を検出します。直接ワークの有無を検出するものではありません。